



城南中だより

学校教育目標

希望と愛をはぐくむ
美と活力の学校

10月号 令和7年9月26日発行 第7号

〒339-0034 さいたま市岩槻区笹久保577 <http://jounan-j.saitama-city.ed.jp/>

Tel 048-798-0007 さわやか相談室直通 048-797-0514

学校の安全について考えてみる

校長 吉原 誠 士

秋風が爽やかに感じられるようになり、熱心な顧問から「やっとともに部活動ができるようになりました」との声が聞かれるようになりました。私が陸上部を担当していた20年程前は「夏休み、体力づくりのために走り込みも大事だ」と言われていて、炎天下でも練習に励んでいました。しかし、新人戦のためにとっても、命にさえ関わる炎暑となる今日ではNGで、熱さ指数を測定したり「熱中症警戒アラート」を活用したりしています。突然の雷や熱帯のスコールのような豪雨に警戒する日も増え、当然ながら、いずれの場合にも生命を守ることを第一に対応します。

さいたま市では9月30日を「明日も進む いのちの日」としています。駅伝の課外練習中に小学生が亡くなったことを教訓にし、二度と同じ事態を招かないという強い決心の下「ASUKA モデル」と呼ばれるマニュアルが整備されました。迅速な救命処置を開始できる危機管理体制の一環として、小学校5～6年生と中学校1年生では心肺蘇生講習も行われるようになりました。この日は、事故の記憶を振り返りながらAEDの点検、そして設置場所の再周知を行います。かつて同様の不幸を目の当たりにしたことがある私にとっても忘れてはならない日になっています。

また、学校は下校まで完全に施錠しています。様々な方から不便である旨を告げられてはいますが、これは私の体験を踏まえてお願いをしています。勤務する学校から比較的近い公園等で不安な案件が続いていたので、すべての校舎の昇降口を閉鎖していました。その後、隣接市で授業中の教室に不審者が入って逮捕されたことが報じられ、模倣犯もあり得るので警戒をゆるめずにいたのです。すると、卒業式開式直前、学校とは無関係の人が会場に侵入を企てたものの不可能と分かり逃走しました。警察に厳重警戒をお願いして式は進行、生徒たちも無事に下校できたのでした。

上に書いたことには学校の安全を考える上での貴重な体験談が含まれています。しかし私と同じ経験をいま関わっている人たちにさせる訳にはいきません。そこで、これからの学校教育を担う後輩たちには「他人の経験を自分の経験に織り込むこと」、つまり年長者からたくさん話を聞くことを奨励しています。以上の他にも様々な例、新たな危機もあるかもしれません。新しい事態が発生しても、思考・判断のための何らかの“ネタ”を持っていれば、解決は早いことでしょう。学校安全のため、風通しよく会話が弾み、一丸となって取り組める、そんな城南中にしていきます。

“ 花笑み教育 ” 中身の充実も図っています！ みんな一緒に頑張るぞ！